

## 令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

## 1. 基本情報

施設名	美馬市交流施設つるぎの湯大桜
施設所在地	美馬市木屋平字川井270番地
指定管理者名	株式会社原田組
評価期間	平成31年4月1日～令和2年3月30日
指定期間	平成29年4月1日～令和2年3月31日
所管課	木屋平総合支所 経済建設課

## 2. 評価結果

項目	評価内容（市コメント）
①業務の履行状況	業務概要は、公衆浴場、宿泊、食事、宴会。 年間利用者数は、13,040人である。 職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、出納帳及び月次報告書により適正に徴収されていることが確認できた。 また、職員研修では地産地消、新たなジビエ料理等に積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業	施設玄関に意見箱を設置し、利用者の声を拾う取組みを進めている。 また、インターネットHPを活用した情報発信、法要・行事の受け入れや、プレミアム会員証をつくるなど、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性	提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 法事、法要の受け入れを行い、利便性向上、経済効果をあげている。 継続事業については、内容を充実させるなど創意工夫が見られる。
総合評価	<b>B</b> 夏場の繁忙期に大雨・台風が多い年となり、宿泊客のキャンセルが相次いだ。利用者数は前年度並み、利用料金収入は前年度を上回る良好な状況であったが、指定管理料の支払いがあっても赤字という結果であった。公衆浴場はランニングコストがかかるため、より一層の利用率向上とランニングコスト節約が課題となっている。

## 3. その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行い、長寿命化をはかる必要がある。  
今後より一層のコスト削減を徹底し、さらには地域内を中心に利益率向上に取り組む必要がある。